

室蘭港② (VR 坂道)

元 首席研究員 (現 八千代エンジニアリング 統括技師長) 吉田秀樹



1. はじめに

北海道の「海と船が見える坂道」2 回目です。今回も前回到引き続き室蘭港の坂道を紹介します。

室蘭市役所のHP「ふるさと室蘭ガイドブック」で紹介されている13坂のうち、前回5坂紹介しました。今回は残り「室蘭・母恋」「東室蘭」の8坂のうち7坂と「輪西」の坂道を紹介したいと思います。なお今回は、私が実際踏査した坂道が少ないことから、室蘭市の広報紙「広報室蘭 2011年11月 特集「坂」」や「ふるさと室蘭ガイドブック」を参考に主に google map のストリートビューの写真により VR 紹介します。

図-1 に室蘭港「室蘭・母恋」、「輪西」、「東室蘭」地区の位置図、図-2 に各地区の坂道を示します。

2. 室蘭港の名前のある坂道

○室蘭港のグルメ

◎天勝本店



図-1 室蘭港と室蘭・母恋、輪西、東室蘭地区

室蘭の坂道踏査した際、室蘭駅近くの商店街で室蘭のグルメを楽しみました。室蘭では有名な店らしいです。店名は「天勝本店」です。天井の店です。大正9年開店で、今年101年目の古い店です。私が訪れたときには雨のためそれほど混んでいませんでしたが、通常だとすごく混むみたいです。

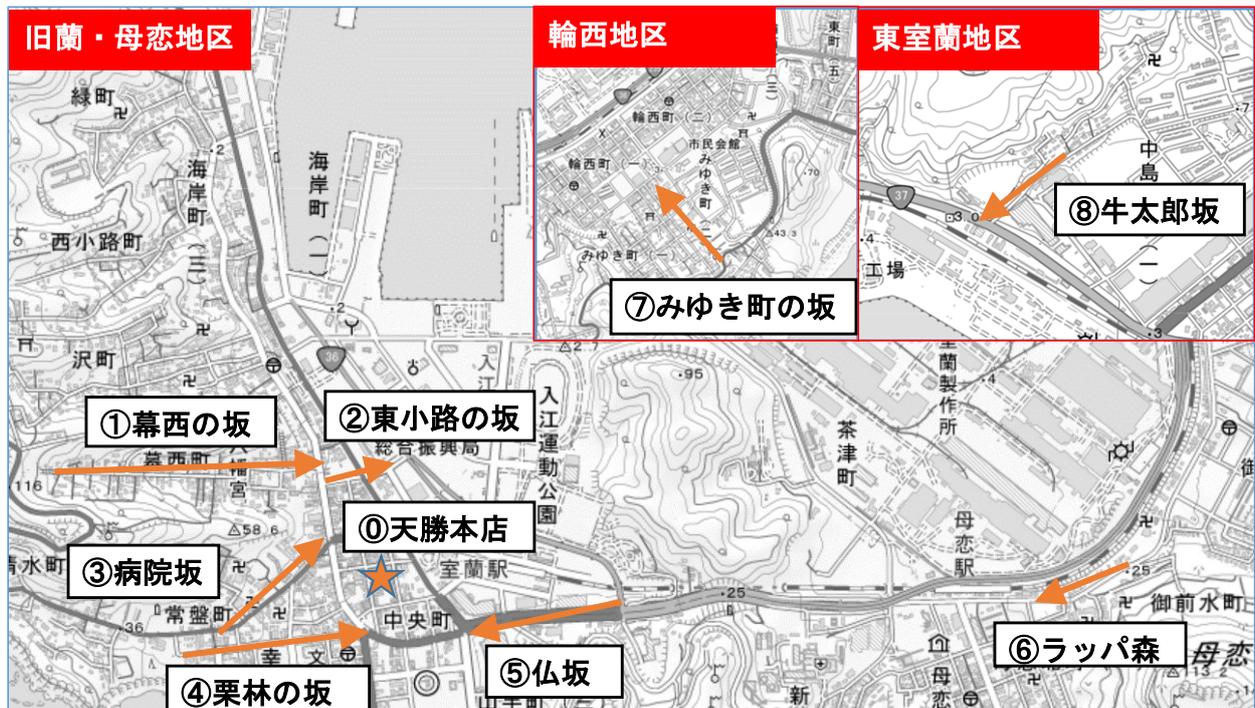


図-2 室蘭・母恋、輪西、東室蘭地区の名前のある坂道 国土地理院地図加工

店内がユニークです。入口に風呂の番台みたいな食券売り場があり、おばさんから木製の食券を買います。名物は大海老天ぷらと小海老かき揚げの天井です。サクサクして非常に美味です。



豪華サクサク天井★



天勝本店★

★は筆者撮影、その他はGoogle map(ストリートビュー)より作成

○「室蘭・恋簿」の坂道

① 幕西の坂 標高差 85m

前回の続きのルートを歩き、「八幡坂」を南に進むと右側にまっすぐ上る坂道があります。「幕西の坂」です。この坂道は、前回紹介した「西小路の坂」と同様に立派な坂道です。直線で標高差もあり勾配 16% の 1 級坂道です。残念ながら海は臨みません。

この坂道周辺は、明治の札幌本道工事以来、遊郭街としてにぎわい、昭和 30 年代の赤線廃止までにぎわったとか。現在は静かな住宅地となっていますが、坂の両側の谷積みの石垣擁壁が昔の栄華をしのばせています。ちなみに、「幕西」は、アイヌ語「マクン・ニウシ」、意味は「後方の・森林」から来ているようです。
<https://www.google.co.jp/maps/@42.319752,140.9673121,3a,75y,260.49h,94.91t/data=!3m6!1e1!3m5!1sEztTfIzDOgagzBckb5vTA!2e0!5s20190601T000000!7i16384!8i8192?hl=ja>

<https://www.google.co.jp/maps/@42.3198232,140.9634559,3a,75y,88.86h,89.63t/data=!3m6!1e1!3m4!1sxmVTSzpc3KKTtNlOtyJfDw!2e0!7i13312!8i6656?hl=ja>

幕西の坂を坂下から見る

坂上からの様子。勾配 16%

② 東小路の坂 (丸井坂) 標高差 4m

幕西の坂下を少し南に進むと右に室蘭プリンスホテル(かつての丸井今井デパート跡)、左側に広い坂道があります。「東小路の坂」です。かつて西小路町との対で東小路町があり、その町の坂だったことから「東小路の坂」と呼ばれたとか。また、丸井今井デパート前にあることから丸井坂だとか。標高差もあまりなく

坂道とは思えないくらいです。

<https://www.google.co.jp/maps/@42.3196992,140.9718533,3a,75y,273.51h,98.66t/data=!3m6!1e1!3m4!1sSz11RCeBP9Q4xU2iMWFtTA!2e0!7i16384!8i8192?hl=ja>

坂下から望む



坂上から見る。坂道とは思えない。★

③ 病院坂 標高差 13m

東小路の坂上からさらに南に進むと右斜めに曲がる広い道路があります。「病院坂」です。坂の中ごろに昭和 26 年から平成 9 年まで市立室蘭総合病院があったことからだとか。残念ながら海は見えそうにもありません。

<https://www.google.co.jp/maps/@42.3181868,140.9707836,3a,75y,241.15h,99.3t/data=!3m6!1e1!3m4!1sOgAqo9ifpY3HXhXDZuUFyw!2e0!7i16384!8i8192?hl=ja>

https://www.google.co.jp/maps/@42.3166903,140.9685451,3a,75y,57.14h,93.86t/data=!3m6!1e1!3m4!1sO_KAPJ-1PWvAJGgywDy4g!2e0!7i16384!8i8192?hl=ja

坂下から望む

坂上から見る。長く続く坂道

④ 栗林の坂 (本宅の坂、常盤の坂) 標高差 21m

病院坂の坂下からさらに南に進むと道路が左に大きくカーブします。カーブの始まり直後、右側に坂道があります。「栗林の坂」です。坂道の坂上に、栗林商会の「栗林本宅」があったのでつけた名前だとか。

また、坂道の坂下付近左側にかつて常盤小学校が建っていたから「常盤の坂」だとか。まっすぐな坂道ですが、海は見えません。残念。

<https://www.google.co.jp/maps/@42.3162727,140.9714877,3a,75y,265.28h,110.91t/data=!3m6!1e1!3m4!1sBk7R1W56uvxfznXHRq7HMq!2e0!7i13312!8i6656?hl=ja>

<https://www.google.co.jp/maps/@42.3158516,140.9666355,3a,75y,78.57h,100.2t/data=!3m6!1e1!3m4!1sOfcn1-6u4v2lowgKn7EMZw!2e0!7i16384!8i8192?hl=ja>

坂下から望む

坂上から見る。長く続く坂道

⑤ 仏坂 標高差 23m

栗林の坂の坂下から道路は大きく東(左)にカーブし

ます。東に進み室蘭新道(国道 36 号)に入ると坂道があります。「仏坂」です。明治 5 年からの札幌本道開削工事などで死者が多数発生し、この付近に仮埋葬されたことから「仏坂」となったとか。「仏坂」の右側(山側)、坂道を見下ろす場所に「仏坂招魂碑」が建てられているとか。

片道 3 車線の広い道路からは左側にかすかに港と白鳥大橋が見えます。

<https://www.google.co.jp/maps/@42.3166789,140.9797804,3a.75y.72.55h.100.99t/data=!3m6!1e1!3m4!1smUGJYjQKl-9dDc2eCIVAw!2e0!7i16384!8i8192?hl=ja>

<https://www.google.co.jp/maps/@42.3168614,140.9810463,3a.75y.264.84h.93.73t/data=!3m6!1e1!3m4!1sHgYysFmZcxA9Sg0FKIRMqA!2e0!7i16384!8i8192?hl=ja>

坂下から見た広い道路

坂上からの様子

⑥ ラップ森 標高差 12m

仏坂を上り道路をさらに東に進み、新道を出て旧道に降ります。母恋駅を左に見ながら進むと前方に坂道があります。「ラップ森」です。

札幌本道開削工事の際、工事監督がラップを吹いたとか、またクマよけのためラップを吹いたとか、諸説あるようです。残念ながら海は見えません。

<https://www.google.co.jp/maps/@42.3170616,140.9926484,3a.75y.61.67h.113.87t/data=!3m8!1e1!3m6!1spf3P0oFhfGiT5oAiXNiesQ!2e0!5s20190601T000000!6shttps:%2F%2Fstreetviewpixels->

[pa.googleapis.com%2Fv1%2Fthumbnail%3Fpanoid%3Dpf3P0oFhfGiT5oAiXNiesQ%26cb_client%3Dmaps_sv.tactile.gps%26w%3D203%26h%3D100%26yaw%3D359.94836%26pitch%3D0%26thumbfov%3D100!7i16384!8i8192?hl=ja](https://www.google.co.jp/maps/@42.3170616,140.9926484,3a.75y.61.67h.113.87t/data=!3m8!1e1!3m6!1spf3P0oFhfGiT5oAiXNiesQ!2e0!5s20190601T000000!6shttps:%2F%2Fstreetviewpixels-pa.googleapis.com%2Fv1%2Fthumbnail%3Fpanoid%3Dpf3P0oFhfGiT5oAiXNiesQ%26cb_client%3Dmaps_sv.tactile.gps%26w%3D203%26h%3D100%26yaw%3D359.94836%26pitch%3D0%26thumbfov%3D100!7i16384!8i8192?hl=ja)

<https://www.google.co.jp/maps/@42.3176903,140.9940971,3a.75y.240.92h.97.94t/data=!3m6!1e1!3m4!1sSj1WpUq9IOE9JboWwOYiQ!2e0!7i16384!8i8192?hl=ja>

坂下から見た坂道

坂上からの風景

○「輪西」の坂道

⑦ みゆき町の坂 標高差 52m

ラップの森の坂をさらに進み、室蘭本線を左に見つ、輪西駅前で右側を見ると、奥に山が見え、住宅地が見えます。住宅地に向かって上る坂道が「みゆき町の坂」です。戦前から製鉄所の社宅だったとか。

並行して多数あります。直線の坂道です。標高差も大きく、坂上では日本製鉄の室蘭製鉄所が見えます。

<https://www.google.co.jp/maps/@42.3323432,141.0123134,3a.75y.152.62h.97.95t/data=!3m6!1e1!3m4!1sak4WGawnUf7rieRitVYArg!2e0!7i13312!8i6656?hl=ja>

<https://www.google.co.jp/maps/@42.3303343,141.0143995,3a.75y.322.78h.94.81t/data=!3m6!1e1!3m4!1s-vrudLzYJqKsPrJXib2haw!2e0!7i13312!8i6656?hl=ja>

坂上に続くまっすぐ坂道

坂上からは製鉄所が見える

多分、遠くに港が見えるはずですが。私がぜひ行ってみたい坂道がありそうな場所です。

○「東室蘭」の坂道

⑧ 牛太郎坂 標高差 10m

東室蘭駅から国道 37 号を西に向かい、中島町付近、右側の丘に登る坂道です。

名前の由来は、川村丑太郎という人が、明治 10 年、夜道の悪路に足を取られ川で水死し、この坂道で検死を受けたからだとか。実は、この丑太郎は、かつては熊を相手に闘ったくらいに英雄だったそうです。

坂上からは、製鉄所が見えます。港が見えるかは確認できません。実際行ってみないとわかりません。標高差が小さいので見えないかも。

<https://www.google.co.jp/maps/@42.3531829,141.0056786,3a.75y.39.3h.95.74t/data=!3m6!1e1!3m4!1sqvBaKYv1-JMjoluKvZ4DPA!2e0!7i13312!8i6656?hl=ja>

<https://www.google.co.jp/maps/@42.3531829,141.0056786,3a.75y.39.3h.95.74t/data=!3m6!1e1!3m4!1sqvBaKYv1-JMjoluKvZ4DPA!2e0!7i13312!8i6656?hl=ja>

坂下から見た坂道

坂上からの風景 製鉄所みえる

3. 終わりに

今回と前回、室蘭の坂道を紹介しました。特に今回は、室蘭市の資料と Google map のストリートビューから VR で作成しました。この作業が可能だったのも IT の進展と、「坂道」を地域の資源と考え「名前のある坂道」を大切にする室蘭市の姿勢だと思います。今後、新型コロナが収まり、時間ができたらぜひ VR で紹介した坂道を訪ねてみたいと思います。

次回は、北海道の坂道の本命、小樽港の「海と船が見える坂道」を紹介したいと思います。お楽しみに。

参考文献

○ふるさと室蘭ガイドブック(室蘭市)

http://www.city.muroran.lg.jp/main/org1400/documents/16_03-11saka.pdf

○広報室蘭 2011 年 11 月 特集「坂」

http://www.city.muroran.lg.jp/main/org1400/documents/2011_11p2-6.pdf

PS 5/14 付け日経新聞最終頁「文化」に私の「海と船が見える坂道」と横須賀が掲載されました。

ご報告まで。